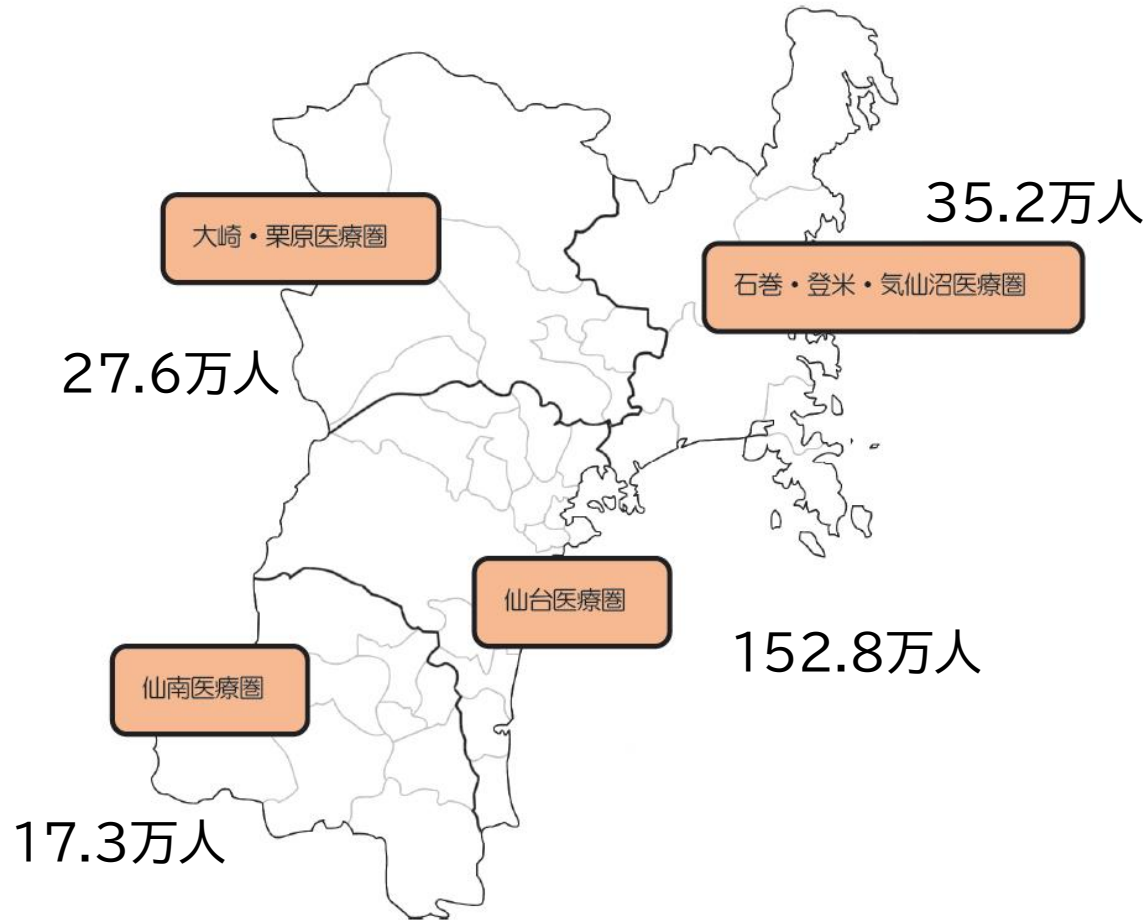


宮城県におけるCKD啓発

宮城県代表 宮崎 真理子(東北大学)
同 地区幹事 杉浦 章(大崎市民病院)



出典 宮城県のメタボリックシンドロームの状況
宮城県地域医療整備計画
日本透析医学会統計調査委員会 我が国の慢性透析療法の現況
人口 平成27年国勢調査



- ・メタボの該当者比率が47都道府県の中で3番目に多い
- ・メタボの該当者+予備軍だと2番目に多い県である
- ・全国の動向よりも早く、慢性透析の原疾患における慢性糸球体腎炎が2011年以降第3位になっている

大崎・栗原医療圏での対面での啓発

8/29 岩出山地区健康教室

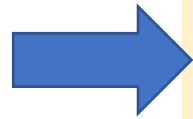
11/5 糖尿病重症化予防健康教育(健診受診勧奨者対象)

12/1 食生活改善推進委員向け医師講和

いずれも演者 杉浦 章、『あなたの腎臓大丈夫？』

という内容でCKDの話

全て対面でのイベント、血圧測定、尿タンパク測定実施



「減塩あと3g」
「歩こうあと15分」
「めざせ受動喫煙・むし歯0」の達成に向けて、県民一丸となった健康づくりを推し進める宮城県の取り組み

今後の課題

- ・脱メタボはCKD予防策でもある
- ・特定健診の要指導受験者へ⇒CKDを放置しない
- ・宮城県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進
- ・市民患者向けの活動:対面でのイベントがおこないにくい
⇒タウン誌や新聞等に啓発記事を通じた啓発も検討
- ・在宅医療機関と連携した保存的腎臓病治療もCKD対策の一つ